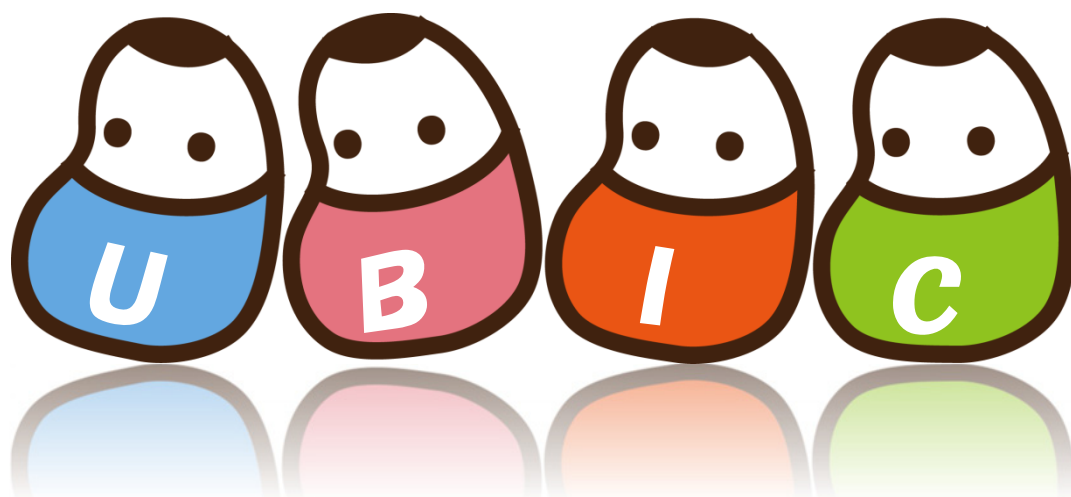


UBICNEWS

University-Business Innovation Center

会津大学 産学イノベーションセンター 復興創生支援センター



産学イノベーションセンター(UBIC)
・復興創生支援センター(RACS)について

… P 1 ~ 2



UBICの取組事例

… P 3



RACSの取組事例

… P 4 ~ 5



研究技術の活用

… P 6 ~ 9



教育活動・起業サポート

… P 10 ~ 11



UBIC利用案内(リニューアルオープン)
UBIC・RACSインフォメーション

… P 12 ~ 15

Jイノベ
J-Innovation HUB

2025年3月発行
UBICニュース

第22号



1. 産学イノベーションセンター(UBIC)

・復興創生支援センター(RACS)について



イノベーションの創出、産業の振興・発展を目指して

会津大学産学イノベーションセンター(略称:UBIC)及び会津大学復興創生支援センター(略称:RACS)は、会津大学と企業や地域が連携して研究を進めていくための産学官連携の拠点です。

地域や企業に開かれた総合窓口として、企業等との共同研究をはじめ、大学の研究や特許の紹介、大学発ベンチャーや起業家の育成、各種セミナー等の開催により、産学官連携を推進しています。

また、企業等の技術相談や経営相談に応じるとともに、企業と大学研究者とのコーディネート活動を行い、産業創出・地域活性化のために活動を進めています。



センター長あいさつ



会津大学は、最先端のコンピュータ理工学の研究・教育に特化した大学です。この特徴を活かし、福島県内外のIT産業はもとより様々な企業の皆様、福島県の市町村や市民の皆様との連携により、産業の活性化、IT人材育成、雇用拡大に力を注いでまいりました。ICTの拠点化による復興支援を目指し2015年に開所した先端ICTラボもAOI会議、セミナー会場、クラウドなど多くの方々に利用いただいています。福島イノベーション・コースト構想への参画、リカレント教育としての女性IT人材育成にも実績をあげております。2024年にはUBIC施設を新たに「ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点」として開所しました。今後もAI、スマートシティ、データ解析、サイバーセキュリティなど産学官連携をさらに強化し、産業の振興、復興創生支援、さらには新たなイノベーションの創出を展開してまいります。

いわせ じろう

岩瀬 次郎 (会津大学副理事長 兼 産学イノベーションセンター長)

札幌生まれの京都市育ち。京都大学工学部数理工学科卒、同大学院修士

日本IBM入社後、米国エール大学大学院留学、Applied Science & School Management修士

日本IBMにおいて、コンピテンシーマネジメント企画管理マネージャやソフトウェアエンジニアリングマネージャ、コンピテンシー&スキル開発マネージャを歴任

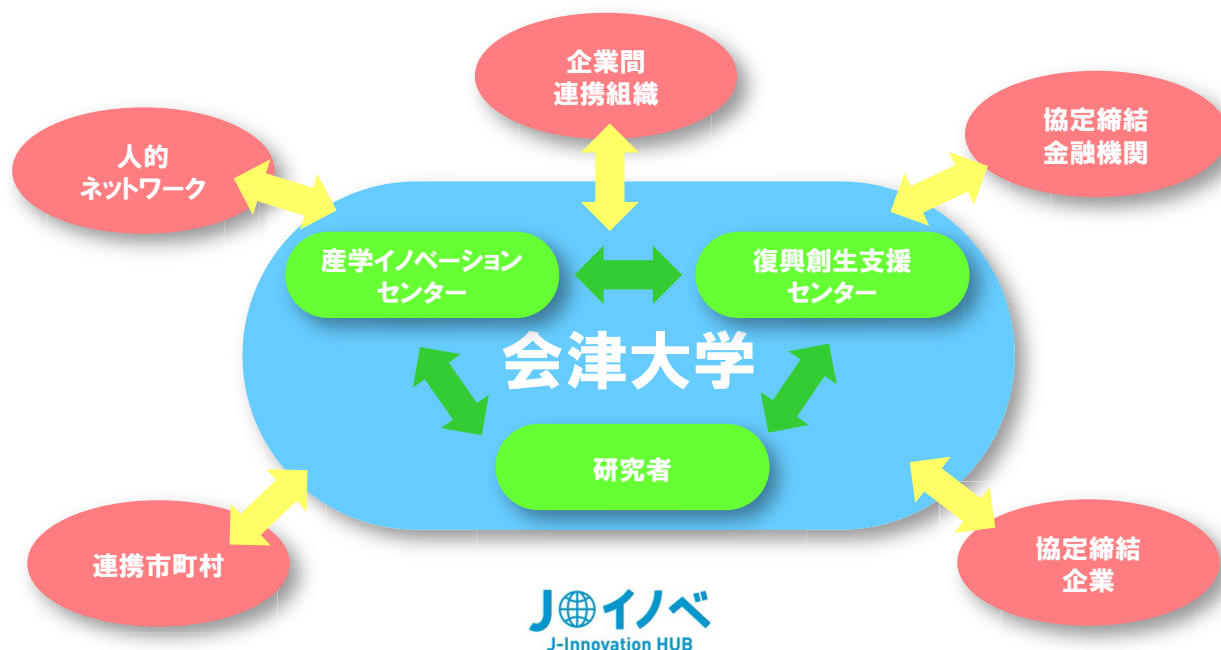
2007年4月 会津大学理事

2010年4月 産学イノベーションセンター長、復興支援センター長

2024年4月 副理事長・副学長

産学官連携の体制

開学初期に創設された産学イノベーションセンター(UBIC)を核とした産学官連携の枠組に加え、2013年には東日本大震災・原子力災害からの復興支援を目的とした会津大学復興支援センターが設立されました。復興支援センターでは、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を目標に、先進的なICT研究や人材育成事業を進めてきましたが、福島県浜通りをはじめとした地域のさらなる復興創生を目指し、2023年に復興創生支援センター(RACS)として新たな活動を開始しました。これまでの両センターの地域を中心とした産学官連携活動が評価され、2020年12月には、経済産業省の「地域オープンイノベーション拠点(地域貢献型)」にも認定されています。



産学イノベーションセンター
UBIC (University-Business Innovation Center)



復興創生支援センター
RACS (Revitalization and Creation Support Center)

- 産学官連携の推進
- 共同研究・受託研究等の推進、外部資金の導入
- 企業等からの技術相談や経営相談
- 人材育成、大学発ベンチャーや起業家精神の育成
- 知的財産の管理・活用
- 研究成果の紹介、研究者の技術シーズの情報提供
- 最先端ICT情報を発信する産学連携フォーラムの開催
- ICT関連の各種講習会の開催
- 施設の提供

- 先端ICT研究の実行
- 革新を生み出す場の提供
- ICT人材の創出
- 会津大学先端ICTラボの運営
- 会津産学官連携クラウドの運営
- 会津産学コンソーシアムによる意見交換
- ICTを活用した福島県復興への寄与
 - ・県民の安全・安心の向上
 - ・原子力災害からの復興
 - ・風評の払拭



2. UBICの取組事例



産学イノベーションセンター(UBIC)では、積極的に地域・産業界との産学官連携活動に取り組み、新産業の創出や地域活性化の促進に貢献しています。

会津産学懇話会との取組

会津産学懇話会は、1993年4月の会津大学開学と相俟つように、1993年12月に会津地区経営者協会有志により設立された大学支援団体です。毎月の定例会をはじめ、会津大学と会津産学懇話会の交流会・先進地視察等により、産学連携と会津地域の産業振興のための事業を展開しています。

定例会

月に一度、朝食をとりながら意見交換会を開催しています。



サマーマイブニングパーティ

毎年夏には、教員の家族と産学懇話会会員がパーティを通して交流を深めています。



AOI会議

会津大学では、革新的な技術、ビジネスモデルを生み出すため、大学の研究シーズを主体に1対1の関係で進められる従来型の産学連携から多対多の関係を形成し、ニーズの段階から多様な議論を活性化させ、あるいは新たなニーズを創出するための共創の場として、会津オープンイノベーション会議(AOI会議)を実施しています。





3. RACSの取組事例



復興創生支援センター(RACS)では、ICTを活用した産業の振興、雇用の創出を通じて、福島県の復興に貢献するとともに、先進的なICT研究を行い、新たなICT産業と雇用の創出を目指しています。

会津IT秋フォーラム

※会津大学・会津産学コンソーシアム* 主催

会津IT秋フォーラムは、会津大学から福島県内外に最新のITに関する情報発信を行い、会津大学のIT拠点機能の強化を図ることなどを目的として、2007年度から毎年度開催しております。

2015年度以降は、会津大学・会津産学コンソーシアムが主催者となり、2024年度は「AI、DXテクノロジーの進展と社会～ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点(FDIC)オープニング記念～」をテーマとして開催いたしました。

*会津産学コンソーシアム：行政機関、国内外IT関連企業及び会津大学発ベンチャー等による、多対多の産学連携の関係を形成し、ニーズの段階から多様な議論、創造を活性化させ、革新的な技術、ビジネスモデルを生み出す、あるいは新たなニーズを創出する方法を確立することを目的とし設立。

AI、DXテクノロジーの進展と社会

～ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点(FDIC)オープニング記念～

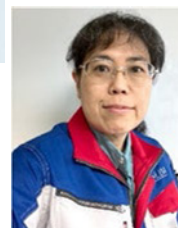
【開催日：2024年10月25日(金) 現地開催及びYouTubeによるオンライン配信】

特別講演

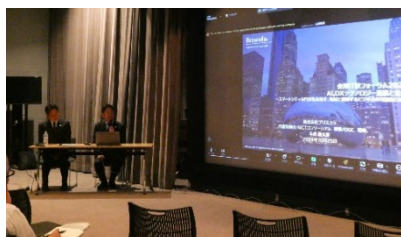
「生成AI等のテクノロジーインパクトと顕在化している課題」
日本アイ・ビー・エム株式会社 IBMフェロー 二上 哲也 氏



「小型月着陸実証機「SLIM」(スリム)プロジェクトの挑戦
～月面ピンポイント着陸へのこだわり」
会津大学 教授 復興創生支援センター長 大竹 真紀子



専門セミナー



【分科会1】
テーマ：スマートシティ



【分科会2】
テーマ：生成AI



【分科会3】
テーマ：人材育成

女性のためのITキャリアアップ塾

会津大学では、女性IT人材の育成等を目的として、「女性のためのITキャリアアップ塾」を開講しています。

県内ICT企業への就職や起業を目指す女性を対象とした講座で、主な内容は好きな時間にオンラインで受講することができます。

女性のライフスタイルに合わせて、ITの基礎からプログラミングなどのICT企業への就職や起業に役立つスキルを身につけることができます。

また、福島県情報産業協会及び福島県労働局と協力し、県内ICT企業等とのマッチングの機会を設け、就労へのサポートを実施しています。



福島県警察との連携

近年、深刻化するサイバー空間での脅威へ対処していくため、会津大学と福島県警察は、2015年11月に「サイバーセキュリティに関する覚書」を締結し、サイバーセキュリティに係る人材育成等に協力していくことになりました。

2019年10月には、県警主催の「サイバーセキュリティリーダー養成講座」が先端ICTラボ(LICTiA)で開催され、サイバー犯罪の情勢やその手口、それを未然に防ぐためのセキュリティ対策、リスクマネジメント等について講義が行われました。本学教員も講師として参加しました。

また、2017年度より、本学の中村章人教授が「福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザー」として委嘱、2022年度からは、インターネット上でのサイバーパトロールやサイバー犯罪防止のための広報啓発活動及び教育活動を目的とした「福島県警察サイバー防犯ボランティア」に係る委嘱状が本学学生に対し交付されています。





4. 研究技術の活用



新技術説明会

会津大学が有する研究成果や特許等について、企業関係者等を対象とした研究技術説明会を開催しています。2024年度は、科学技術振興機構(JST)と共同で「新技術説明会」を開催し、多くの来場者にお越しいただきました。

説明会では、大学教員自らが実用化を想定した説明を行い、企業ニーズとのマッチングを目指しています。また、説明会を通して、参加企業の要望に応じた技術相談を行うことで、産学官連携を推進しています。

開催日: 2024年12月12日(木)
会場: JST東京本部別館1Fホール
(東京・市ヶ谷)



1 描画によるペンタブレットおよび脳機能計測機を用いた発達障害の診断支援システム

教授 慎重弼

従来技術である書字を用いた発達障害の診断では、文字情報を数値化することが難しく、医師の主観的評価に依存した研究が主流でした。そこで、ペンタブレットによるデジタル描画データを用いることで、詳細な書字座標や筆圧などの多次元のデータを得ることができ、発達障害の特異性をより鋭敏に捉えることが可能となります。



2 自己教師学習による人間行動の識別方法

教授 陳文西

人間の行動を識別するモデルの構築にあたり、自己教師あり学習を活用し、少量のラベル付きデータでモデルを予備訓練した後、自己ラベリングメカニズムにより、さらに大量のラベルなしデータで訓練することで、データ種類の制限なくマルチモダリティに対応できます。自己ラベリングにより、実使用時にもモデルの自動進化・ファインチューニングが可能であり、精度の向上を図ることができ、広範な用途に適用可能になります。



3 長寿命&高耐性！製品価値を高める次世代高効率AI

上級准教授 富岡 洋一

従来の冗長化技術では、計算負荷の高いAI処理の計算量と消費電力が更に増大するという課題があります。しかし、提案技術を使えば、少ないオーバーヘッドでシステムの信頼性を向上させることが可能となり、これにより、AIの信頼性を向上し製品の価値を高めること、悪環境でのAIシステム運用に貢献することが可能となります。



4 騒音下での音声明瞭度を高速かつ簡易に改善する手法

上級准教授 ヴィジェガス オロズゴ ジュリアン アルベルト

本技術は、騒音下での音声明瞭度を改善する手法を提案します。この手法により、通常の音声より16倍の正しい単語認識が可能となり、従来の類似の技術を使った場合に必要な時間の約4%で音声を処理することが可能となります。



共同研究等

本学との共同研究等をご検討の際は、コンピュータ理工学を専門とする教員(約110名)の中から、研究テーマに最適な教員を紹介いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

■共同研究

共同研究とは、企業等の外部機関の研究者・技術者と本学の教員が共通のテーマについて研究を行う制度です。目的やご希望に応じて、以下の3つの形態から選択することができます。

- ① 研究に要する経費を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ② 共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究
- ③ 研究に要する経費と共同研究員を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究

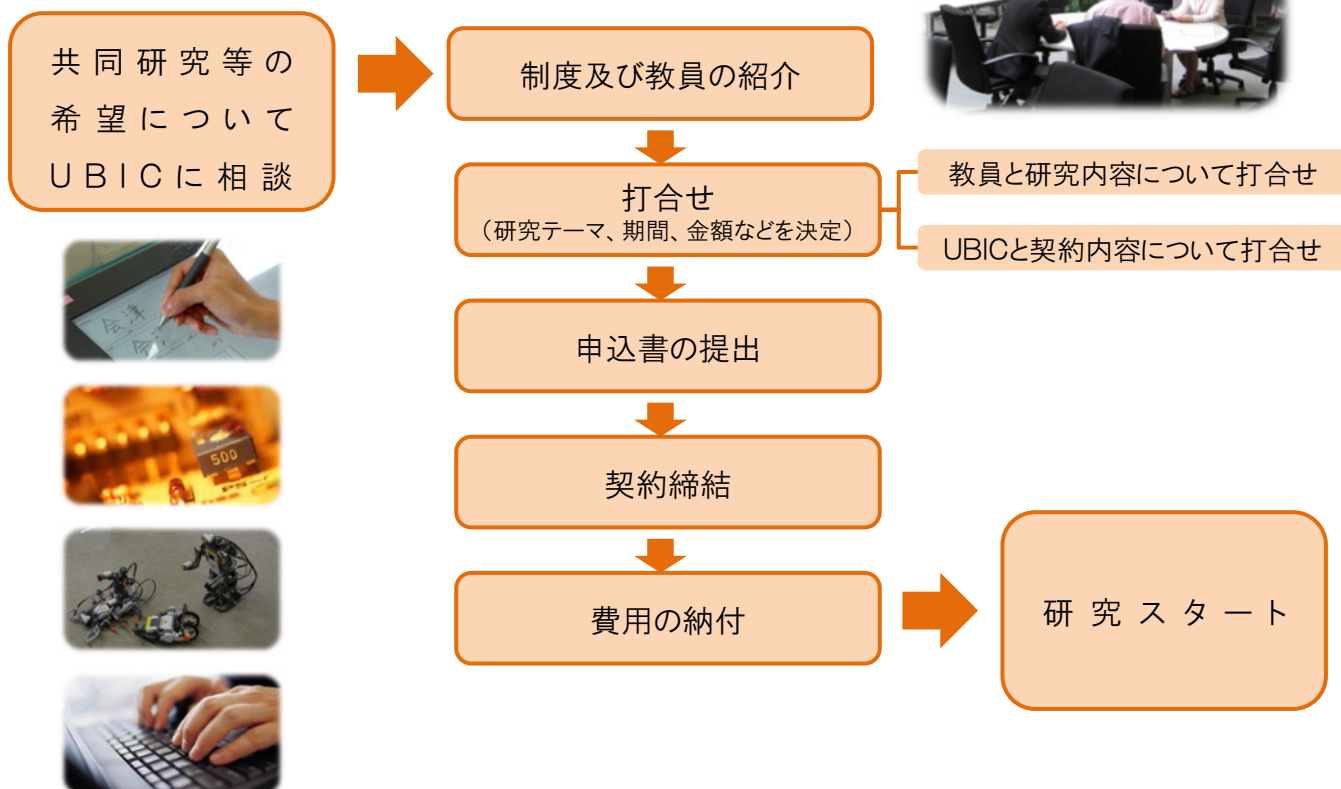
■受託研究

受託研究とは、企業等からの受託により本学の教員が研究を行う制度です。研究に必要な経費は、委託者のご負担となります。

■奨学寄附金

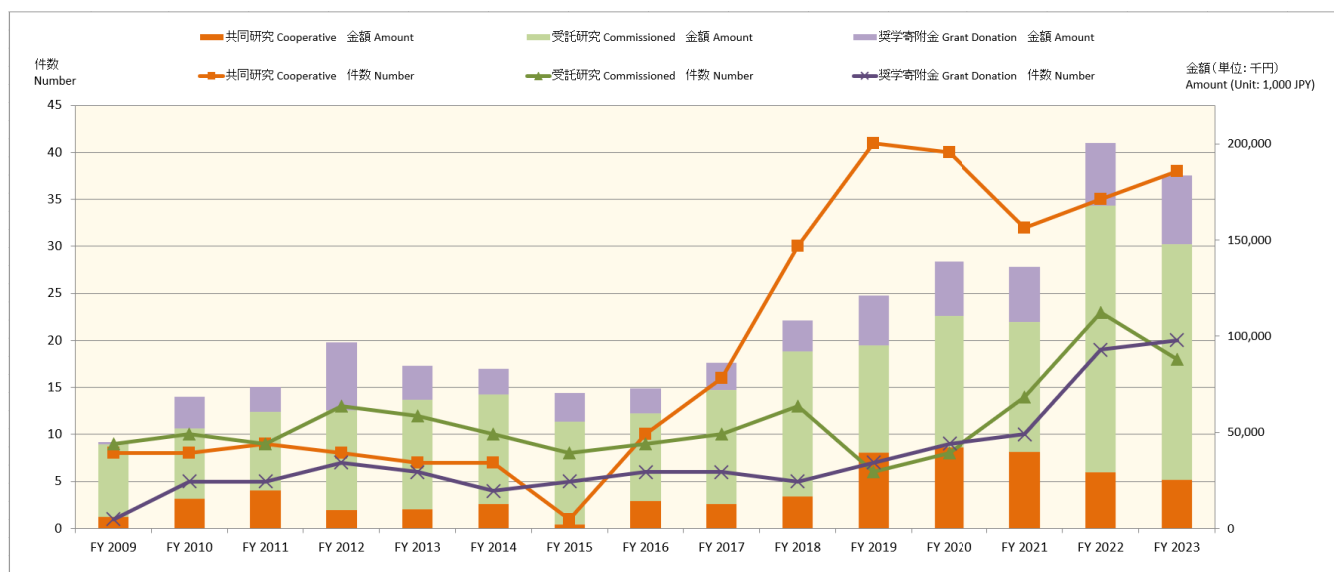
奨学寄附金とは、教育及び学術研究の奨励に使用されることを目的に、企業等から寄附金を受け入れる制度です。

共同研究等の開始までのフロー



共同研究等の実績

2024年3月31日現在



シーズ集の発行

UBICでは毎年、大学の研究成果や技術をまとめたシーズ集を発行しています。
是非ご活用ください。

※ シーズ集は、UBICホームページでもご覧いただけます。

<https://www.ubic-u-aizu.jp/kenkyu.html>



また、UBICでは企業の皆様からの技術相談や産学連携のマッチング
相談を随時受け付けています。

会津大学の技術に興味を持たれた方は、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】 産学イノベーションセンター(UBIC)

☎ : 0242-37-2776(代表)

HP : <https://www.ubic-u-aizu.jp>

✉ : ubic-adm@ubic-u-aizu.jp



出願済特許一覧

2025年1月31日現在

	出願番号	発明の名称	登録番号等
1	特願2005-291717	呼吸心拍監視装置	特許第4863047号
2	特願2009-094620	アレブロセッサ	特許第5519951号
3	特願2010-262195	ジェスチャ認識装置及びジェスチャ認識方法	特許第5733656号
4	特願2011-018668	ストローク生成装置、ストローク生成方法、ストローク生成プログラム、文字生成装置、文字生成方法および文字生成プログラム	特許第5713707号
5	特願2012-204403	センサネットワークシステム及びセンサネットワークシステムにおけるデータ取得方法	特許第5943476号
6	特願2013-024166	類似系列区間検出装置および類似系列区間検出プログラム	特許第6061714号
7	特願2013-188978	水田除草ロボット（※玉川エンジニアリング㈱との共同出願）	特許第6260951号
8	特願2013-262523	誤り耐性ルータ、これを使用するIC、及び誤り耐性ルータの制御方法	特許第6284177号
9	特願2014-041620	移動軌跡解析装置及び方法（※日本電信電話㈱との共同出願）	特許第6044937号
10	特願2014-044834	深部温度計（※奈良先端科学技術大学院大学との共同出願）	特許第6395176号
11	特願2014-051566	電子測角器及び測角プログラム	特許第6338268号
12	特願2014-087842	視覚復号型秘密画像分散法、及びこれを実行するプログラム	特許第6391109号
13	特願2014-139370	再生可能エネルギーを利用した情報処理システム（※株式会社EWMジャパンとの共同出願）	特許第6425166号
14	特願2015-177680	ドローンおよびドローン群	特許第6602614号
15	特願2015-196698	それぞれコントロールユニットを有する非ブロック光スイッチを用いる光ネットワーク・オン・チップシステムのセットアップ方法	特許第6747660号
16	特願2015-204608	近似同期式CDMA通信システム及び通信方法	特許第6618759号
17	特願2015-207660	災害時情報管理システム、これに用いるサーバ装置及び端末装置	特許第6811947号
18	特願2015-217618	植え込み型除細動器の植え込み部位における体内電気伝導様式をシミュレーションするコンピュータ装置及びシミュレーション方法	特許第6618771号
19	特願2016-063390	スピーカから再生される音の定位化方法、及びこれに用いる音像定位化装置	特許第6770699号
20	特願2016-098424	被験者の識別、反応機能を計測するための識別・反応計測装置、及び被験者の識別・反応機能の計測を実行制御するプログラム	特許第6793932号
21	特願2016-100732	ネットワークオンチップ用の欠陥耐性ルータ	特許第6846027号
22	特願2016-126337	呼吸検出装置、呼吸検出方法および呼吸検出用プログラム	特許第6709116号
23	特願2016-146033	ロボットを操作する装置、その装置において実行される方法およびプログラム	特許第6910628号
24	特願2016-205061	手書き文字認識装置、検出装置および処理装置	特許第6821174号
25	特願2016-227628	浴槽式心電モニタリングシステム、これを用いる入浴中心電モニタ方法、最適入浴条件設定方法及び、入浴中心電モニタ方法を実行する制御プログラム	特許第6785500号
26	特願2017-043073	手書き文字によるユーザ認証システム	特許第7033288号
27	特願2017-117686	データ処理装置、及びこれにおけるデータ処理方法	特許第7014393号
28	特願2017-120278	携帯端末を用いた察知エージェンツシステム、察知エージェンツシステムにおける機械学習方法、及びこれを実施するためのプログラム	特許第746139号
29	特願2017-124730	認証装置、認証方法及びコンピュータプログラム（※SIMPLEX QUANTUM㈱との共同出願）	特許第6765657号
30	特願2017-156805	秘密データの隠蔽方法、これを実施するプログラム、及び秘密データ通信システム	特許第7143973号
31	特願2017-162242	屋内位置特定システム、携帯端末及びコンピュータプログラム	特許第6971467号
32	特願2017-192767	音声認識装置および音声認識プログラム	特許第6944329号
33	特願2017-218953	3DネットワークオンチップのためのTSV誤り耐容ルータ装置（※㈱会津ラボとの共同出願）	特許第7277682号
34	特願2017-235198	動画像距離算出装置および動画像距離算出用プログラム	特許第6982865号
35	特願2018-018854	認証システム、認証方法及びコンピュータプログラム	特許第6979204号
36	特願2018-230323	ニューラルネットワークの学習方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ装置	特許第7230324号
37	特願2018-240066	階層バウンディングボリューム生成方法、コンピュータプログラム及びコンピュータ装置	特許第7161154号
38	特願2019-041980	動画像距離算出装置および動画像距離算出用プログラム	特許第7157449号
39	特願2019-059707	野生動物検出装置	特許第7351459号
40	特願2019-060649	モーションセンサを搭載したセンサ装置及び位置推定方法	特許第7014439号
41	特願2019-124541	3次元ネットワークオンチップによるスベイクンニューラルネットワーク	特許第7277682号
42	特願2019-125734	ラベリングプログラム、ラベリング装置及びラベリング方法（※アルバイン㈱との共同出願）	特許第7333496号
43	特願2019-185284	大腸内視鏡検査補助装置、大腸内視鏡検査補助方法及び大腸内視鏡検査補助プログラム（※福島県立医科大学との共同出願）	特許第7315809号
44	特願2019-217358	補正距離算出装置、補正距離算出用プログラムおよび補正距離算出方法	特許第7315216号
45	特願2020-022553	検査プログラム、検査装置及び検査方法（※アサヒ電子㈱との共同出願）	特許第7451857号
46	特願2020-028085	分類プログラム、分類装置及び分類方法（※福島県立医科大学との共同出願）	特許第7421703号
47	特願2020-033678	仮想発電所制御システム（※㈱会津コンピュータサイエンス研究所との共同出願）	特許第6804072号
48	特願2020-042133	カテゴリ識別プログラム、カテゴリ識別装置及びカテゴリ識別方法	特許第7460949号
49	特願2020-042803	対象物識別システム、対象物識別プログラム、情報処理装置、対象物識別方法及び識別装置（※㈱あいだブラスターとの共同出願）	特許第7206451号
50	特願2020-043230	データ処理装置及びデータ処理方法	特許第7467786号
51	特願2020-045595	野生動物監視システム及び野生動物監視方法	特許第7364148号
52	特願2020-054493	プログラム、自律移動装置の管理装置、管理方法及び管理システム（※TIS㈱との共同出願）	特許第7466144号
53	特願2020-071633	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アサヒ電子㈱との共同出願）	特許第7427856号
54	特願2020-094220	複数のTSVを含むTSVグループが層間を接続するオンチップの3次元システム	特許第7488989号
55	特願2020-123114	指示値読取プログラム、指示値読取装置及び指示値読取方法（※信越半導体㈱との共同出願）	特許第7589911号
56	特願2020-137240	心房細動検知プログラム、心房細動検知装置、心房細動検知方法及び心房細動検知システム（※SIMPLEX QUANTUM㈱との共同出願）	特許第7589911号
57	特願2021-018896	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルプスアルバイン㈱との共同出願）	特許第7510033号
58	特願2020-142015	学習データ生成プログラム、学習データ生成装置及び学習データ生成方法（※アルプスアルバイン㈱との共同出願）	特許第7541635号
59	特願2020-142016	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルプスアルバイン㈱との共同出願）	特許第7553754号
60	特願2020-142017	学習プログラム、学習装置及び学習方法（※アルプスアルバイン㈱との共同出願）	特許第7510033号
61	特願2020-171553	複数のリンク内の複数誤りを検出する複数誤り検出回路及び複数誤り検出回路を有する誤り訂正回路	
62	特願2020-185960	複数の移動体のそれぞれの移動経路の作成方法、システムおよびプログラム（※㈱東日本計算センターとの共同出願）	
63	特願2020-189720	情報読取プログラム、情報処理装置及び情報読取方法（※信越半導体㈱との共同出願）	特許第7613647号
64	特願2020-194733	AIプロセッサ	
65	特願2021-024842	動作特定プログラム、情報処理装置及び動作特定方法	特許第7619546号
66	特願2021-042444	モデル推論プログラム、情報処理装置及びモデル推論方法	
67	特願2021-047837	周期的近傍パターン検出装置、周期的近傍パターン検出プログラム及び周期的近傍パターン検出方法	
68	特願2021-092181	フローメータ読取プログラム、フローメータ読取装置及びフローメータ読取方法（※信越半導体㈱との共同出願）	
69	特願2021-121259	情報処理システム、情報処理方法、振分装置、通知装置、振分プログラム及び通知プログラム	
70	特願2021-121263	プログラミング学習支援プログラム、情報処理装置及びプログラミング学習支援方法	
71	特願2021-213059	学習モデル生成プログラム、学習モデル生成装置及び学習モデル生成方法	
72	特願2021-214286	時系列分類装置、時系列分類プログラム及び時系列分類方法	
73	特願2022-016161	入浴者見守りシステム（※㈱情報システムエンジニアリングとの共同出願）	特許第7126230号
74	特願2022-022472	電力取引システム及び電力取引方法（※㈱会津コンピュータサイエンス研究所との共同出願）	
75	特願2022-033334	学習モデル置換プログラム、学習モデル置換装置、学習モデル置換方法及びニューラルネットワーク回路装置	
76	特願2022-056069	テンソルメモリ及びテンソルプロセッサ（※㈱トプスシステムズとの共同出願）	
77	特願2022-057019	学習モデル生成プログラム、学習モデル生成装置及び学習モデル生成方法（福島県立医科大学との共同出願）	
78	特願2022-125488	心拍分類装置及び入浴者見守りシステム（※㈱情報システムエンジニアリングとの共同出願）	特許第7162232号
79	特願2022-178106	画像認識システム（国立研究開発法人情報通信研究機構との共同出願）	
80	特願2022-182875	関節角度推定プログラム、情報処理装置、関節角度推定方法及び関節角度推定システム	
81	特願2022-187467	ユーザ認証プログラム、情報処理装置及びユーザ認証方法	
82	特願2022-196416	ホモニアスコンピューティングシステム及びホモニアスコンピューティングデバイスのマイグレーションフローの生成プログラム	
83	特願2023-010098	位置検知システム及びセンサ取り付け方法	
84	特願2023-046730	対象追跡装置、対象追跡プログラム及び対象追跡方法	
85	特願2023-048058	音声信号処理プログラム及び音声信号処理装置	
86	特願2023-054792	3次元モデルデータ編集装置及びコンピュータプログラム	
87	特願2023-076257	判定支援装置、判定支援方法及びコンピュータプログラム（※国立熊本大学との共同出願）	
88	特願2023-099161	学習進捗表示システム及び学習進捗表示プログラム	
89	特願2023-107217	プログラム採点システム及びプログラム採点方法	
90	特願2023-110988	学習プログラム、推定プログラム、情報処理装置、学習方法及び推定方法（※川崎重工業(株)との共同出願）	
91	特願2023-132333	位置推定システム及び位置推定方法	
92	特願2023-146851	目標点に向かって被験者を誘導するためのシステム、方法、およびプログラム（※(株)東日本計算センターとの共同出願）	特許第7538492号
93	特願2023-181283	ニューラルネットワークの近似故障検出手法及び回路	(未公開)
94	特願2023-181739	圧力センサ校正方法及び圧力センサ校正システム	(未公開)
95	特願2024-002563	ニューラルネットワークの前故障アンサンブル技術	(未公開)
96	特願2024-024176	筆跡認証システムパスワード認証技術（※システム(株)との共同出願）	(未公開)
97	特願2024-047372	ニューラルネットワークプロセッサ	(未公開)
98	特願2024-054010	快適性評価装置及び入浴者見守りシステム（※(株)情報システムエンジニアリングとの共同出願）	(未公開)
99	特願2024-056380	漆塗りロボットシステム（※(株)会津コンピュータサイエンス研究所との共同出願）	(未公開)
100	特願2024-057141	学習プログラム、情報処理装置及び学習方法	(未公開)
101	特願2024-057226	秘密計算用器具	(未公開)
102	特願2024-086522	撮像画像の画素選択装置及びそのプログラム	(未公開)
103	特願2024-137878	学習プログラム、推論プログラム、情報処理装置、学習方法及び推論方法（※福島県立医科大学との共同出願）	(未公開)
104	特願2024-217735	学習プログラム、情報処理装置及び学習方法	(未公開)
105	特願2025-00308	映像処理装置、映像処理端末、映像処理システム、映像処理方法、及び映像処理プログラム（※日本電信電話(株)との共同出願）	(未公開)



5. 教育活動・起業サポート



会津IT日新館

～ベンチャー人材育成プログラム～

会津IT日新館は、大学が地域のベンチャーや企業、自治体と連携し、地域や企業のニーズに対応したテーマを持つベンチャー体験工房群を構成し、挑戦する精神と技術力を持つ人材育成に取り組んでいます。

ベンチャー基本コース

ベンチャー基本コースは、より実践的なビジネス知識が習得できるように、「知識編」と「講義」で構成された授業です。「知識編」では、ビジネスに関連した知識を学び、ベンチャー精神育成に必要な知識を習得することができます。「講義」では、各分野で活躍している多彩な外部講師によるタイムリーな話題に触れることができます。



ベンチャー体験工房

ベンチャー体験工房は、より少人数で実践的な教育手法として注目されているPBL（プロジェクト形式の課題解決型学習）を取り入れた授業です。

大学や地域、企業の課題を見つけ、チームで一つの開発テーマに取り組み、実践します。

また、企業の技術者から直接指導を受け、ベンチャー創業活動や産業界での実務に近いソフトウェア開発などの疑似体験をすることにより、起業家精神の醸成を行っています。



起業家教育プログラム

会津大学の学生、教職員を対象に、起業に興味を持っていただけるよう不定期にワークショップを開催しています。新しいことを始めるために必要なビジョンを共感できるものとするワークショップや、様々なメソッドを使ったワークショップ、そして起業家によるパネルディスカッションなどを企画しております。

今後も学生、教職員にとって有益な学びの機会となるセミナーを企画していきます。



起業サポート

起業支援の取組について

◆会津大学発ベンチャーの称号付与

本学の研究成果や資源等を活用して起業したベンチャーに対して、「会津大学発ベンチャー」の称号を授与しており、称号を受けた事業者に対しては、創業支援・起業支援に関する様々なサポートを行っています。

No.	企業名	事業内容	認定日
1	株式会社会津ラボ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2007/02/28
2	株式会社心電技術研究所	医療福祉健康関連の情報処理システムの開発販売、情報管理、及び情報提供サービス業務ほか	2007/02/28
3	SORA有限会社	コミュニケーション用ソフトウェアシステムの開発及び販売ほか	2007/02/28
4	株式会社Eyes,JAPAN	コンピュータの操作方法の指導、コンピュータシステムの企画調査及びコンサルティングほか	2007/02/28
5	株式会社シンク	コンピュータに関わる各種ビジネスシステムの企画、コンサルタントほか	2007/02/28
6	株式会社ニセンエックス	コンピュータのシステム開発及び販売ほか	2007/02/28
7	天系瓜ネット合同会社	プロバイダサービス、ホームページ作成、各種プログラム開発、ネットワーク管理業務	2007/07/25
8	株式会社デザインウム	映像・情報・広告宣伝媒体等の企画、編集、製造、販売	2007/07/25
9	株式会社GClue	コンピュータソフトウェアの分析、設計、開発、販売、コンピュータによる情報提供サービスほか	2007/07/25
10	有限会社フロンティアオンライン	コンピュータソフトウェアの開発、操作に関する指導、ソフトウェア及びハードウェアの販売	2007/07/25
11	株式会社T&Iコミュニケーションズ	コンピュータに関するセキュリティシステムの企画、開発、運営ほか	2012/08/01
12	株式会社あくしゅ	クラウド基盤構築、システム開発ほか	2012/10/11
13	株式会社PLISE	システム開発	2014/03/18
14	株式会社スタンダード(ノグチキカク)	ホームページ制作・運用保守、WEBアプリ、モバイルアプリの開発・運用保守ほか	2015/03/03
15	株式会社ウェブレッジ	Webサービス改善コンサルティング事業、Web&モバイル・ソフトウェアテスト事業ほか	2015/05/19
16	株式会社FaBo	プロトタイピングツール「FaBo」の開発・販売ほか	2016/06/30
17	株式会社dott	Webシステム・アプリ・サイトの企画開発運営ほか	2016/06/30
18	株式会社ミナノチカラ	社会起業家育成のための教育研修・支援、就職・再就職・転職のための教育研修・支援ほか	2017/09/26
19	TAKLAM	コンサート・ライブ・イベントの運営業務、デジタルコンテンツの制作ほか	2018/05/24
20	株式会社Anost VR	VRコンテンツの開発・展示	2018/12/12
21	株式会社チームミズキ	ブロックチェーン開発及びコンサルティング、デジタルコンテンツの企画・立案・制作ほか	2019/03/27
22	株式会社Novera	スマートミラー事業、スマートフォンアプリ事業	2019/08/01
23	株式会社会津コンピュータサイエンス研究所	コンピュータに係る新技術の研究開発	2019/08/01
24	AizuBT株式会社	コンピュータのソフトウェア及びハードウェアの企画ほか	2020/09/29
25	株式会社コンピュータ	情報システムと機械に関わる製品とサービスの提供	2020/09/29
26	mooi(モーイ)	インターネット通販、ゲストハウス運営、WEBページ制作	2020/11/12
27	株式会社FromFrom	コンピュータのソフトウェア及びハードウェアの企画、研究、開発、コンサルティング業務ほか	2022/02/22
28	合同会社ムーン・アンド・プラネット	宇宙開発に関する広報・イベントの企画運営、宇宙開発に関する調査・研究の受託・実施ほか	2022/02/22
29	株式会社ランチズム	インターネットを利用した各種サービス等の企画、開発、制作、配信、管理、運営及び販売ほか	2022/02/22
30	イシックスジャパン合同会社	AI・IoT・ICTなどに関連するシステム・ソリューションの企画・開発ほか	2022/6/15
31	株式会社inf.(インフ)	学習教室の経営、研修・セミナー、講演会、イベント等の企画、実施、運営及びコンサルティングほか	2023/3/29
32	株式会社StoD(エストウーディー)	企業の業務効率化に関連するITシステムの開発・運用・販売・保守・コンサルティングほか	2024/6/27
33	株式会社Pignet	SNS、インターネット等を利用した広告マーケティング、マーケティングシステムの企画、開発ほか	2025/1/23
34	株式会社デュナミス	コンピューターのソフトウェア及びハードウェアの企画、研究、開発、コンサルティング業務ほか	2025/1/23

◆研究開発室等の利用と法人登記

本学の教員又は学生が起業したベンチャー(設立5年以内)などを対象として、産学イノベーションセンター(UBIC)の研究開発室※を提供しています。「会津大学発ベンチャー」の称号を授与された企業は、研究開発室の入居にあたって、使用料の減免措置を受けることができます。また、本学施設を利用して事業活動を行うベンチャーは、入居期間中、本学を法人登記の所在地として活用することができます。

※研究開発室のほか、復興創生支援センター先端ICTラボのプロジェクトルームの使用も可能です。



6. UBICは「ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点」へ生まれ変わりました。 ～2024年10月にリニューアルオープン～



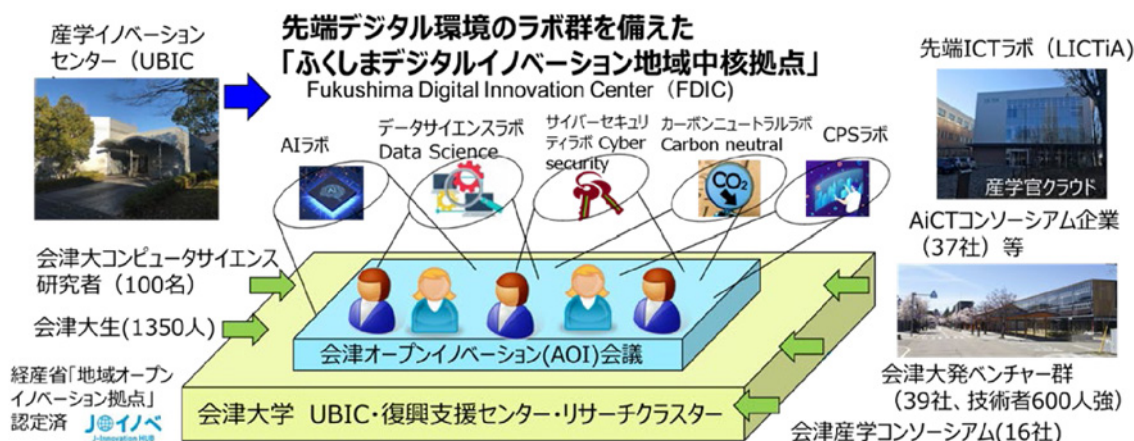
背景

UBICは、大学が有するICTの専門性とオープンイノベーションの手法を活用し、産業創出や人材育成の面で様々な取り組みを実施してきました。このたび、経済産業省の令和4年度産学連携推進事業費補助金(地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備(大学等向け))を活用し、2024年10月1日に新たに「ふくしまデジタルイノベーション地域中核拠点」として生まれ変わりました。ソフト面で会津オープンイノベーション会議(AOI会議)という強力なエコシステムツールに加え、ハード面での施設改修を行い、今後のデジタルイノベーション(ICT+OI)の中核拠点として、地域発の新産業ならびにスタートアップ創出を加速することを目的に、最先端ICTを活用したオープンイノベーション環境を再整備しました。

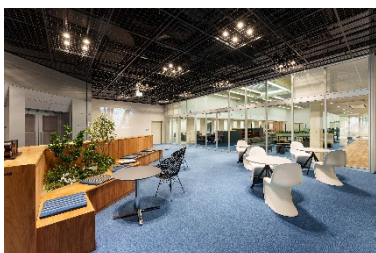
施設概要

UBIC内のインキュベーション施設とオープンスペースを中心に改修を実施し、ICT分野の中でも重点5領域「AI(人工知能)・DS(データサイエンス)・CS(サイバーセキュリティ)・CN(カーボンニュートラル)・CPS(サイバーフィジカルシステム)」に関する専門ラボ(研究環境)を新設しました。この専門ラボを利用したAOI会議、企業との共同研究を推進するとともに、併設する企業向けプロジェクトルームを使って本学シーズの社会実装化を図ります。

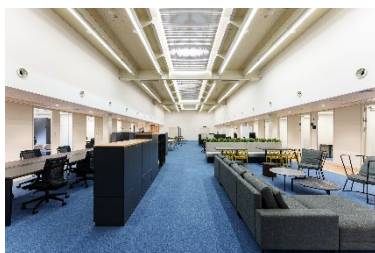
また教職員・企業・学生を問わず利用可能なスペースを整備し、地域の課題解決や相互連携に向けた交流を図り、さらに学生向けのプロジェクト体験スペースを確保することにより、起業マインドの醸成、先輩ベンチャーからの助言など、専門ラボや交流スペースと合わせて、スタートアップ創出のための環境を提供します。今回の施設整備により、地域中核拠点としてデジタルイノベーションの広範な普及と地域活性化に貢献してまいります。



【主な施設写真】



エントランス・交流スペース



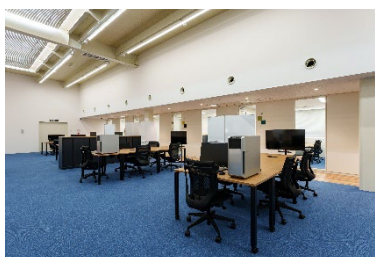
インキュベーションスペース



プロジェクトルーム(研究開発室)



3Dシアター

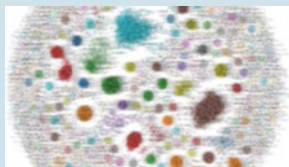
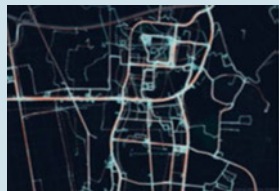


研究ラボ



ミーティングスペース

5つの研究ラボ

AIラボ	データサイエンスラボ	
・多数GPU搭載計算サーバによる大量データAIモデル ・電力測定装置やFPGAによるAIチップ処理性能実証 ・各種AI+IoT処理の実証環境の整備  	・計算サーバによる大量データ処理環境 ・解析結果の可視化とデモンストレーションデータ インタフェース／解析ツール整備  	
サイバーセキュリティラボ	カーボンニュートラルラボ	サイバーフィジカルシステムラボ
・サイバーレンジ演習環境整備 ・演習用最新シナリオ作成と検証 ・ロボットセキュリティ実証環境 	・CO2循環や再エネ関連モニタ ・各種エネマネシステム対応 ・会津若松市脱炭素先行地域連携 	・運動解析ルーム環境整備 ・ロボット関連CPS実証実験対応 ・遠隔地との仮想環境構築実証 

重点取組

オープンイノベーションの バブ機能の強化	高付加価値な研究成果の 創出と産業移転	スタートアップの創出と 成長支援
・多様なステークホルダーとの交流 活性化のためのスペース整備 ・民間DX、スマートシティ・デジタル 田園都市での行政連携 ・専門人材の育成と呼び込み ・福島国際研究教育機構との連携 ・デジタルイノベーションのハブ機能	・今後の民間需要が見込める重点 ICT分野の5研究ラボの整備 ・学内研究クラスタとの連携強化 ・産業移転を目指した研究成果の 高付加価値化 ・民間投資による大学の知のサイク ルと産学連携エコシステムの形成	・創業関連教育の再整備 (SGU・スタートアップ支援事業) ・学生のプロジェク体験スペース ・企業との先端共同研究による シーズ実装・企業内起業支援 ・既存スタートアップとのプロジェクト 協業による成長支援

産学連携専任教員

産学イノベーションセンター・復興創生支援センターでは、共同研究のコーディネートから発明・特許の管理まで、産学連携に必要なサポートを実施いたします。技術相談や事業化に関わる相談等を幅広く受け付けていますので、是非お気軽にご相談ください。



復興創生支援
センター
特任教授
石橋 史朗

本学の特色である情報通信技術の強みを活かし、多種多様な分野の方々との議論を通じて、課題解決のお手伝いができればと考えています。また大学の施設・設備や知的財産を有効活用して頂くことで、スタートアップをはじめとする新規事業や新産業の創出支援も進めて参りますので、ぜひよろしくお願い致します。



産学イノベ
ーションセンター
准教授
畠 圭佑

産学連携は、既存概念を壊す強力なイノベーションを生み出し、地域の様々な課題を解決できるものと考えております。また、様々なデータを解析し、有益な情報を見つけ出す研究も行っております。AI・データサイエンスのことでお困りの際は是非ご相談いただければと思いますので、よろしくお願いします。



産学イノベ
ーションセンター
准教授
五十島 淑

大学の技術と企業の連携による、情報通信技術の更なる発展、また、実用化に向けた活動に取り組んでいきたいと考えております。また、地元である会津の課題解決に向け活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



復興創生支援
センター
教授
石坂 博明

特許庁から出向しています。長年の特許審査経験及び産業財産行政の経験を生かして、特に産業財産の観点から皆様のお役に立ちたいと思います。また、本誌掲載の「女性のためのITキャリアアップ塾」のプロジェクスマネージャーとして産学連携に取り組んでいます。



復興創生支援
センター
准教授
鈴木 崇正

産学連携に活用されるデータセンター管理者を担当しています。共同研究から実運用までサポートできるISMS認証済みの環境を準備し対応させて頂きます。会津大学の知識と環境が地域貢献に繋がるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。

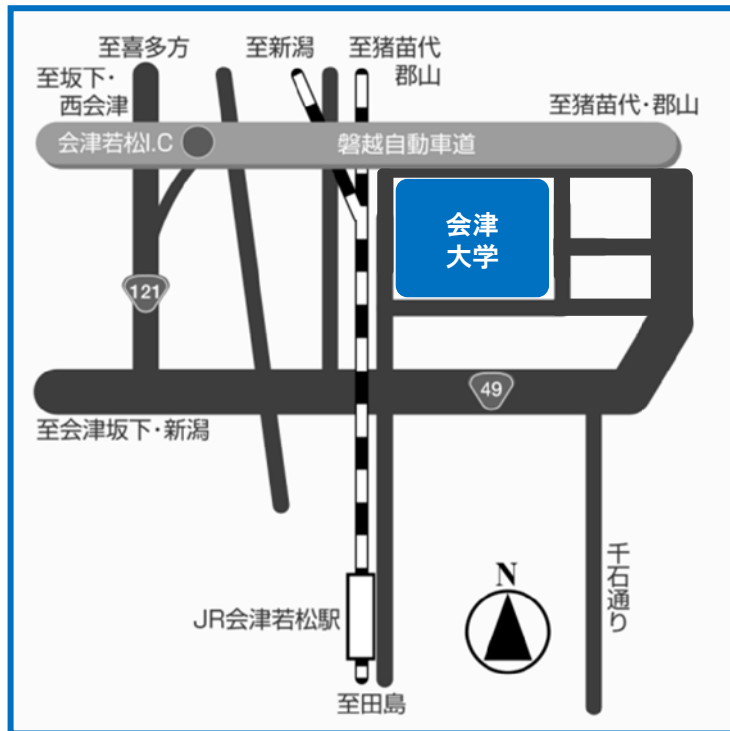


復興創生支援
センター
特任教授
屋代 眞

ロボット関連の研究・事業を通じた産学連携による福島県の産業育成の推進、南相馬市にある会津大学ロボットテストフィールドオフィスと協力してロボットや情報の技術を生かした浜通りの復興支援・人材育成などを推進しています。ロボット技術を生かした次世代の情報技術の研究や産学連携を皆様と進めていきたいと思っています。

UBIC・RACSインフォメーション

◆ アクセス



会津大学産学イノベーションセンター
(U B I C)
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電 話 0 2 4 2 - 3 7 - 2 7 7 6

F A X 0 2 4 2 - 3 7 - 2 7 7 8

E メール ubic@u-aizu.ac.jp

ホームページ <https://www.ubic-u-aizu.jp/>

会津大学産学イノベーションセンター・復興創生支援センターの
Facebookページもございます。

UBIC Facebook



会津大学
産学イノベーションセンター

会津大学復興創生支援センター
(R A C S)
[先端ICTラボ (L I C T i A) 内]
〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90

電 話 : 0 2 4 2 - 3 7 - 2 5 3 3

F A X : 0 2 4 2 - 3 7 - 2 6 8 7

E メール : revitalization-adm@
u-aizu.ac.jp

ホームページ : <http://www.lictia.jp/>

施設・サービス : <http://www.lictia.jp/services.html>



<キャンパスマップ>



【UBIC】



【LICTiA】

